

## 事業評価書

補助事業名	社会福祉施設：福祉センター障害者用昇降式機械浴槽購入				
補助事業者名	羽村市長				
実施場所	羽村市福祉センター				
補助事業の目標	<p>現在使用している入浴設備は、設置後 10 年以上が経過し、スイッチの誤作動、ベルトやホースの劣化、ストレッチャーの枕部分の脱落等の不具合が生じてきているとともに、交換部品の製造は現在行っておらず、在庫も年数の経過とともに入手しにくい状況である。</p> <p>入浴設備の更新を行うことで、自宅で入浴することが困難な重度障害者に安全・安心かつ快適な入浴を提供することで、介護者の負担軽減を図ることで、福祉の向上及び利便性の向上を図る。</p> <p>【令和元年度】 浴槽利用者延べ 815 人</p> <p>【令和 2 年度】 浴槽利用者延べ 779 人</p>				
補助事業の内容	老朽化している障害者用昇降式機械浴槽の入浴設備の更新を行うことで、自宅で入浴することが困難な重度障害者に安全・安心かつ快適な入浴を提供するとともに、介護者の負担軽減を図ることで、福祉の向上及び利便性の向上を図った。				
補助事業の始期及び終期	令和 3 年度				
事業費及び交付金額		令和 2 年度以前	令和 3 年度	令和 4 年度以降	合計
	事業費	0	7,370,000	0	7,370,000
	交付金額	0	7,000,000	0	7,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕</p> <p>新しい機械浴槽について職員 9 名、利用者 7 名にアンケートを実施した。職員評価は、「非常に良い」が 5 名、「良い」が 4 名であり、安全・円滑な入浴支援が可能になっているとの評価であった。また、気泡装置の音が静かで泡が細かく、湯の感触が良くなったと感じたとの回答があった。</p> <p>利用者評価は、意思確認が可能な利用者や同行の家族に確認したところ、「非常に良い」が 5 名、「良い」が 2 名であり、安心・快適に入浴できるとの評価であった。また、湯が温かく感じるとの回答もあった。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報はむら及び市公式サイトへ掲載</li> <li>・福祉センター内に防衛省交付金を活用し、整備した旨の表示を行っている。</li> </ul>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				